

きょう WUB世界大会 大阪市内 ホテルで

【大阪市で高江洲洋子】国内外から真系の経営者らが集う第九回WUB(ワールド・ウチナーンチュ・ビジネス・アシエーション)世界大会関西2005(WUBインターナショナル主催、WUB関西主管)が、七日午前九時から大阪市内のスイスホテル南海大阪で開催される。大会は「人・食・水・KANSAIは沖繩と世界をつなぐ」がテーマ。大会では世界十七カ国にあるWUBの二十一支部間での通信ネットワーク構築を本格的に打ち出し、ビジネスチャンスの拡大を目指す。

大会では会長交代式典が開かれ、同インターナショナルの呉屋守将会長が退任し、WUBブラジルの与那嶺真次氏が会長

に就任する。ブラジル、中国、米国など十三カ国の十六支部から参加する約百三十人を含め来賓、一般参加者約三百五十人が参集する。

七日は女子栄養大学教授の宮城重三氏が「沖繩の長寿と26シヨック」をテーマに講演。石垣市出身で洋菓子メーカー「エーデルワイス」(本社・神戸市)会長の比屋

根毅氏が事業を拡大した歩みを語る。同日午後は琉球大学教授の米盛徳市氏が各支部間で構築するネットワークの内容を紹介。続いてWUB沖繩会長の牧志泰三氏がWUB投資会社の事業を説明する。

大会会長の仲里眞光氏は「支部間をネットで結び、例えば琉球料理店など沖繩関連ビジネスの宣

伝に利用してもらおうよ
な具体的な交流を今大会
で提案したい」と話す。